

第 8 回鎌倉市児童福祉審議会会議録

平成 13 年 6 月 9 日（土）18 時 10 分～19 時 00 分

審議会会議前に「鎌倉市立深沢保育園」及び「福祉施設用地」の見学を行った。

事務局 それでは出欠につきまして委員は全員出席です。幹事 2 名は所用のために欠席しています。4 月 1 日で交代になりました幹事を紹介いたします。木村保健福祉部次長です。

委員長 それでは、第 8 回鎌倉市児童福祉審議会を始めさせていただきます。きょうは、この前に深沢保育園を見学させていただきましたので、見学を踏まえて施設整備についてご議論をいただくといっても、実際には深沢を見ていただきましたのでその話を少ししながら、いろいろなアイデアを出していただければと思っております。前回議事録は既にお読みいただいているかと思しますので、何かまたご訂正があれば事務局にお申し出いただくことにしまして、では事務局の方で資料を確認してください。

事務局 本日につきましては、前半に深沢保育園を見ていただきまして、委員の皆さんには深沢保育園に関連する資料、保育園のしおりを配布しています。きょうは見学を踏まえての整備等について議論していただくということで特に資料等は用意していませんのでよろしく願いいたします。

委員長 実際にもう一つ、反対側の空きビルも見ていただきましたので、実際にハードの面、それからきょうはそれこそ沢ガニとか、保育に関わるようなソフトの面のことも、いろいろお話を伺うことができましたので、31 年経って建て替えなどが前提になると思いますので、実際のアイデアをいただきたいと思います。どなたからでも結構なんですけれども、まず感想からいただければと思います。建物的には随分古くなっているなという印象を持たれたかと思うんで、そのことも含めていかがでしょうか。どなたかあれば。さんいかがですか。

委員 本当に庭続きに山ということで、建物はもちろん老朽化していましたが、こんないい環境はないのではないかと感じてすごく感動したんですが、その後で次に移る場所、あその場所を改修ということだったので、そのところをもうちょっとどういう予定でどういう具体的な場所なのか伺いたいなと思います。

委員長 2 か所見せていただきましたけれども、あそこを見学した意図とか、幾つか案もあるかというので、それは事務局に説明していただきましょうか。

事務局 2か所目に見学いただいたところについては、深沢保育園施設の老朽化により改築の検討を行うという形で、実施計画に登載されています。深沢保育園につきましてはもう30年を超えて、かなり老朽化が進んでいるということで、先ほど見ていただいた2か所目について今の保育園を移築するという形にするか、それとも今のところで保育園を改築して、例えば仮設の保育園を建てるといった形で進めることも視野に入れながら検討しておりまして、今の段階では福祉施設の用地として管理しているという状況で、最終的な決定はまだされていません。

委員長 南側の自然が残っている部分にプレハブを建ててしまうのはもったいないですからね。とはいえ改築の間、保育園の定員を減らすということは、できないだろうということですから、幾つかある選択肢の中には、この際だから向こうへ移してしまう。それから2か所目に仮設の保育園をつくる、幾つか選択肢はあると思うので、そのことも含めてご意見いただければと思うんです。専門家から見えていかがですか。

委員 ひどく荒れているなと思ったんですけど、それは実は明日ゴキブリの駆除をするそうで、真ん中に全部道具を寄せ集められていましたが、普段は見えないところが見えたんだと思いますね。ですから、実際に道具類がおさまっていれば、そんなにひどくはなかったんだと思うんですけど、それにしても、よく我慢して使っているなというのが実感でした。それと同時に保護者の方が、「あんなにひどくなっているのに建てかえてもくれない」と言わないのが不思議だなという思いもありました。それで代替地を見せてもらいましたけれども、あそこはそのまま置いたのでは大変物騒だから早く取り壊して更地にして、あそこへ保育園を移築するのは私は反対で、せっかくよい環境のところをむざむざ捨てることはないので、とりあえず、その仮園舎に使って今までのところに建てかえるのがいいのではないかなと。もう少し今流に環境をうまく取り入れた形のものでできれば、なお結構だなと思いました。

委員長 さんも随分施設を見ていらっしゃるって、どうですか。

委員 そうですね、かなり老朽化が進んでいるというか、手入れが全然なされていないなど。私立ではとてもではないけれど考えられないような施設だなというのが第一印象です。例えばちょっと汚ければ、我々はお金がなければみずからペンキ塗りをしたりするんですけども、保護者が見て汚いからやりましょうかという意見も出ないのかなと、それも不思議だなと思うんですけども、とにかく老朽化が進んでいると。私の幼稚園と5年しか変わらない建物とはとてもではないけれど思えないというのが、第一印象です。確かに環境がすばらしい。私はすごい、それがまず第一に気に入ったんですけども、

だったらもう少し環境を生かしたような設計の仕方もあるのではないかなという気がしますね。初め深沢保育園というから、もっと深沢の駅の方にあるんだと思ったら、全然違うところなんですね。今の保育所のニーズからいったら、ちょっと不便なところなのかなという気がしますけれども、そのかわり自然がたっぷりのすばらしい環境にあるなど。確かにあそこに建てかえた方が、子どもたちのためにはすばらしい環境だと思いますけれども、コスト面とかその辺、私はわかりませんが、私たち私立の場合でしたら、少しずつ壊しながらもその中で必ず建てかえていかなければいけないのに、公立の場合あるいは私立の保育所は、市の代替の建物があったりするので大変いい環境だなど、逆にうらやましく思いました。

委員長 ほかに。　　さんは実際に毎日のように通っているみたいだからあれですけども。ああいうふうに荷物は真ん中に寄っていたのは初めて見られましたか。

委員 そんなに荷物のことは別に気にもなりませんので、私は20年ほど前に別な保育園に子どもを預けながら、あそこで代替保母をさせていただいたところと古さはそんなに変わらなかったのではないかなと。それなりに修繕していたのではないかな。ただ20年前はあのぐらいが当たり前だったのが、今はもっときれいなところが確かにあるし、御成小学校の新しい校舎なんてすばらしいですから、ああいうのと比べれば確かに劣るかなと思いますけれども、十分過ごせるように気持ちよくホールの床もとてもきれいに使いよくなっておりまして、何よりも皆さんおっしゃったように環境がすばらしいなということで、特に昔は南側の山が杉林で本当にうっそうとしていたんですが、途中でもお話ししたように風致保存会が入ってくださって、あその山を切って、しかも子どもの遊び場としてとても適しているようにできましたので、ちょっと雑談で何人かの方とあそこを冒険遊び場にしたらいいのではないかななんて話をさっきしたぐらいでして、実際それはとてもいい案で、深沢保育園はとても地域に開かれたことをいろいろやっというらっしゃると思うんですけど、これからもっと保育園というのはいろいろな地域とのつながりも必要ですし、例えば子育て支援センターが、ただ鎌倉の中央1つではちょっと足りなくて、これから各地域にと言ったときに、保育園を利用するということは、もともと国の方針でもあったと思うんですよね。そんなに悪い案ではないと思うわけです。実際に親と離れた子どものいる保育園に親子でもって子どもが訪れるということは、ちょっとアレルギーがあるのではないかと懸念はあったようですが、実際、千葉とかで私は主任児童委員をやっておりまして、そういうところでも支援センターを開いて、悪い結果は決してなくて、むしろ子どももこういう状態で遊んでいるということを保育園のよ

うな集団生活を知らない母親が子どもを連れてやってきて、とても勉強になるといういい面もあるようですので、私はそういう施設も保育園につけていったらどうかなと思いますので、せっかく改修というのであれば、そういう方向もあると思うんです。

お話中途半端でしたが、冒険遊び場というのは、小学生とか学童の子どもにも開かれた施設として必要ですが、やはりプレイリーダー小屋とか、事務局の部屋がどうしても必要ですし、そういう施設を例えばその中に一室事務所を設けて、あそこで子どもが遊べられるように、かなり多目的にしていくというような案などはどうかなと。せっかく改修ということがありましたので、夢がとても広がったんですけれど。

委員長 さん、 さんいかがですか。

委員 そうですね。先ほど環境のことを皆さんおっしゃいました。私も環境は非常にすばらしいと、もうこれはすごい財産だと思いますが、悪い言い方をすると、その環境に依存しているような気がしますね。もう少し施設面で、昭和45年当時でもやりようがあったのではないかという気がします。昭和45年当時にできている建物というのは、先ほども 先生のところも5年しか変わらないとおっしゃっていましたが、もう少し中の環境ですか、使い良さということも考えた建物が多くあるように思うんですね。それからすると老朽化が激しいことは確かですし、手入れについてはよくわからないところもありますけれども、施設そのものが老朽化していない状態でもやはり多少考えが足りなかったのではないかと、金銭的なことも含めて。そういう印象を非常に受けました。非常にそういう意味では外の環境と施設のアンバランスが非常に印象に残りました。

委員長 先ほど さんは、ホール等の冷暖房の話もされていましたが、その辺はどうですか。

委員 恐らくあそこは天井が高いので非常にいいんですけれど、ちょっと恐らくああいうつくりだと夏の暑さはかなりだろうと思うんですね。先ほどちょっと伺いましたら、乳児のところには空調がありましたけれども、幼児のクラスには空調がないんですね。空調にはいろいろ健康の問題もあるのかもしれませんが、保育園は1年中ですから、ものすごく暑くて40度近いときも開いているわけで、少なくとも園児らがいる部屋に空調設備とか要るのではないかと思います。

委員長 さんはいかがですか。

委員 私もすごく環境のことはびっくりしたんですけれども、先ほど 委員がおっしゃっていたように、もう少し保育園が地域に広がっていくために、すぐ横に梶原子ども会館がありましたね。あそこでもし学童を預かっているんで

したら、ああいう山の中の冒険ができるような場所は、保育園の小さいお子さんももちろんなんですけれども、むしろ小学生の低学年なんかもとても喜ぶだろうと思うので、ああ近くに子ども会館があるんだなということも感じながら帰ってきたんです。保育園のところにお子さんを連れのお母さんが一緒に来ることの利点を先ほど委員に伺ったんですが、おとしですか、茅ヶ崎の子ども支援センターを見学に行ったときに、わざわざ保育園から別にした理由というのが、そのお母さんと離れたお子さんのところにお母さんが一緒に来ているお子さんが混ざることの意味をちょっと言われて、だからどちらにしてもいい面もあればちょっと考えなければいけない問題点もあると思うんですが、とても楽しかったのは保育園の窓のところに目隠し用のお花が飾ってあって、お母さんが見られるようになっていたというのが、すごくほほ笑ましいなと思ったんですが、そこまで工夫をするんだとしたら、ほかのお母さんが、あの子のお母さんが一緒に来ているんだというのが気になってしまうのではないかなとちらっと思ったんですが、それはちょっと専門家ではないので、よくわかりません。

委員長

ありがとうございました。

実態として、子ども会館を学童が使っているという実態があるんですか。わからないですか。さんに聞いた方がいいのか。

委員

いえ、うちの子どもが初めて子ども会館が開かれたときに行ったのは古い話ですから、そのころは一步も外に出してもらえなかったというか、やっぱり安全面と職員の数等で学童の場合は外へ出られなかったのが、最近少しずつ何か開かれてきたとは聞いていますが、やはりいつでも自由に外に行くということはないんですね。注意もあるんでしょうけれども、せっかくあそこに遊び場があって、すぐ隣が学童の子ども会館ですけど、それができるんですかね。

委員長

建てかえるとしたらということで、そういう支援センター的な役割だとか、少し学童も視野に含めたらいいなというお話も出てきていると思うんですが、何かいいアイデアがありますか。

委員

あの前の道路は直線ですから、すごいスピードで自動車が走っていきますから、あの子ども会館は地域の公会堂か何かに貸して、建てかえる保育園に子ども会館を含めた総合施設のような形にすれば、裏の山の中も借り物ではなくて、自分たちのものとして一緒に遊べるんだと。異年齢児の保育もできるし、その方がいいのではないかなという気がしましたね。

委員長

あそこは高さはどうなんですか。現在の保育園の高さ。2階ぐらいのものが建てられるのですか。

事務局

ちょっと確認していないんですけれども、前に市営住宅がありますので、道

路間の距離の問題もあろうかと思いますが、市営住宅程度のものではできないのではないかと。

委員 やっぱり平屋にこしたことはないけれど、もったいないね。お金がないないと鎌倉市は言っているんだから、やっぱりあれは2階建てにしたら一番いいのではないかと思うんですね。

それからもう一つ、実は私のところでこの4月から新たに運営を始めて、きょう行って初めて気がついたんですけど、内装がもとの平島保育園ときょう見た保育園は同じなんです。だからこれは同じ設計をしたんだろうと思うんですけど、極めて押し入れが使いにくい。あっちこっち見て歩きましたけれど、最近では保育園を専門に設計している設計技師が大勢おりますから、役所の中の建築住宅課が設計するのも結構ですけども、そういう専門職に頼むと同じお金を使うなら、もっと機能性のあるものができるのではないかと。もっと大きなものがね。そんな感じがしました。

委員長 押し入れまでは気がつきませんでしたけれど、そうですか。

ほかに見ていて、場所は大体皆さんの意見は、あの場がいいのではないかというご意見が多いんですけども、多いというか全員の方がそうなんですけれどね。こんなものを新しくやれたらいいなとか、保育そのものに関わってのこともそうなんですけども、こんな保育を今度は展開をしたらいいのではないかということがあれば、少し出していただきたいんですが。

委員 いいですか。子ども会館の例えば管理をしている課と保育園の管理をしている課は、同じなんですか。

委員 違います。青少年課と子ども家庭福祉課です。

委員 そうですか。そうすると、また難しいのかもしれないんですが、今委員がおっしゃった学童保育をあの建物の中でできるとすごくいいと思うんですね。というのは、きっと学童保育にいらしているお子さんというのは、お母さんがお仕事をなさっていたりする方が多いので、小学校に入る前は、もしかしたら深沢保育園にお世話になっていて、そこから卒園して小学校に行って、それでまだお母さんが働き続けていらっしゃるということで、学校が終わった後、学童に行っているようなお子さんだとしたら、自分の後輩たちと遊ぶような形にもなりますし、このごろ少子化で兄弟が余りいないお子さんも多いと思うので、自分よりも下の子と触れ合う機会とか、あと小さいお子さんにとっては、お兄ちゃんやお姉ちゃんができるようなことになると思うので、今おっしゃられた意見はとてもいいのではないかと思います。

委員 学童というのは教育委員会で、厚生労働省の方は放課後児童対策というんですよ。だから今の子ども会館は、教育委員会ですが、教育委員会が離すかどうか知りませんが、保育園が合築してやる場合には厚生労働省の特別保育事

- 委員長 業でやりますから、それはできる、建つんだと。その方がいいと思います。
- 委員長 これも1つのアイデアだと思うんですが、ほかにはいかがですか。
- 事務局 今、深沢保育園の障害児保育はどうなっているんですか。
- 事務局 現在、1人障害があるだろうと認められるお子さんがいまして、1人職員をつけて対応しています。
- 委員長 保育園ですから、もともとフラットなんだけれども、そのほかにもいろいろな形で障害対応をしていくことも必要だと思うんですね。
- 委員 あと子育て支援センター的なことといえば、むしろ保育園に通っていない、しかし子育てにいろいろな悩みがある。先ほど園長先生も、遠くからお子さん連れてやってくるご家族があるというお話がありましたから、学童だけではなくて、就学前のお子さんたちの相談とか、あるいは1日保育、親子保育みたいなこともできるといいのかもしれない。
- 委員 そういうことになってきますと、園児のこれからの人数がどうなるかわかりませんが、鎌倉市の公立保育園にとってもベテランの保育士さんがたくさんいらっしゃるので、子育て支援センターのアドバイザーのようなことがおできになる方がたくさんいらっしゃると思うんです。ついですが、今現在の支援センターはそれと似たところになっておりますが、ちょっと運営のことに入っちゃってよければ、なるべく外に委託金を払わない方法での保育士さんの活用も考えられますし、また場合によっては、ファミリーサポートセンターも多分NPO法人のようところに委託する可能性があるとするれば、支援センターもそういうようなNPO法人を立ち上げていく。それからまた、先ほど学童と子ども会館の運営につきましても、NPOを立ち上げていくという芽は、若いお母さんのルートでいろいろできているのは、私も何となく知っていますので、今から育てていけば、きょう決めて明日というわけにいかないんですけれども、1～2年先のこととして、そういう運営の仕方も視野に入れたらどうかと。
- 委員長 それこそきょう決めたって建物ができるまでには、それなりの年月がかかりますから、そのぐらいのタイムスパンは必要ですね。
- 委員 きょうは青少年課の課長さんがいらしてないのであれなんですけれども、やはり児童館も中・高生の児童館がいろいろなところでできていて、鎌倉市ではなかなか実現されていなくて、青少年会館は確かにできてはいるんですけれども、この間できたフレンドリー（二階堂子ども会館）なんか、今はやりの子どもたちがバンドをしたりする個室も欲しいという要望もあったんだけれども、それが受け入れられないとか、いろいろな積み残しの課題がたくさんあると思うので、それもやっぱり各地域に欲しいとなれば、先ほどのお話で、あそこの保育園のところにもむしろ小学生対象ぐらいの子どもをターゲ

ットに入れれば、今隣接してある子ども会館を中・高生向けにも広めていくこともできるのかなということです。

委員長 当面、市長から2つの諮問をいただいている、2つ目は年齢幅を余りとならないで子育て支援を考えていくというのがありますので、またそこでもいろいろアイデアを出していただけたらと思います。

ほかには、どうですか。

委員 駐車場はどうなっているんですか。

委員長 送り迎えの駐車場の車はどういうふうになっているんですか。

事務局 見ていただきましたとおりで、入り口が大変狭いものですから、実際には見学时に我々の車が停まりました大通りに止めたり、車の方はそういう形になりますけれども、ほとんど駐車場としての機能はありませんので、不便はかかっているかと思っています。

委員 ああいう場所ですから、車で送り迎えの方もほとんどあれじゃないですかね。それに対して数台でもとまるような駐車場がないというのは、ちょっと今の時勢からいっても考えものですよ。

委員長 それにしても限られた園庭だから、駐車場を選ぶか、子どもの遊ぶ場所を選ぶか、これも1つの選択ですね。

委員 何とか工夫して、少しでも。ということは、近隣にそれだけ迷惑をかけるわけですから。

委員長 そうですね。

委員 近所から苦情は来ないのですかね。

委員長 ちょっと私が園長先生に伺ったら、ないとおっしゃるんですよ。私も見学して、本当に市営住宅は目と鼻の先ですよ。夏は本当に暑くて風通しのために開けていけば見えてしまうぐらいの距離なので、あそこに結構年長さんたちがいて、結構な騒音だと思うんですけどね。苦情はないのですか。

委員 駐車場の苦情もないの、あそこ前が道路だから。

委員長 団地には駐車お断りという看板が出ていましたね、出入り口に。そういうトラブルはないんですか。

事務局 逆に、市営住宅の方がどうかわかりませんが、入り口のところでとめられてしまっているということで、保護者の方から課の方に苦情が来たことはあります。

委員 私の園でも半年ほど前に近所の方が役所へとなり込んで、駐車場がなくて邪魔だと、それでしょうがなくて急遽駐車場をつくりましたけれど、これもやっぱり近所に迷惑をかけて悪かったなと思いましたね。

委員 今そこでも問題になっているんですよ、駐車場ね。来るなといっても車で来ますから。

委員 だんだん月齢が下がってくると、どうしても車でなければ来られないわけですからね。

委員 そうですよ。

委員長 ほかにはいかがでしょうか。

委員 あと、(大阪の小学校内で児童が殺傷された)きのうの事件のようなことが起きないとも限らないので、施設面で防犯対策というか、そういうこともぜひ入れて、かといってあんまりがんじがらめにしてしまうと自然との交流、ほかの人たちの交流に支障を来たすということも残念な気もするし、そのところをよく考えながら、本当に丁寧に施設の設計にしても、それからソフト面にしても本当にじっくり丁寧にやっていただきたいなと思いました。

委員長 確かに今の深沢保育園は人が出入りするところに職員の部屋がないんですよね。一番奥のところにあるんですよね。だから、通常の保育園の送り迎えなんかでもちょっと入り口で声かけをしたりということは、あそこだとしにくいな。

委員 まして地域開放で、園庭開放事業とかやっているんでしょう。自由に人が出入りするということは、チェックができませんよね。

委員長 もう少し人の通路のところに職員室があるといいなと思います。ほかにはどうでしょうか。さんは実際、見ていただけなかったのかもしれませんが、実施計画の中で深沢保育園については、30数年経っているので何らかの対応をしたいというのは出ていて、実際に見ていただいた方にはいろいろなお話を伺いましたが、そのお話も含めて、もし保育園が新しくなっていくとしたら、こんなことをぜひ保育園でやってほしいというアイデアがありましたら。むしろ深沢保育園という特定のものではなくてもいいんです。これからの保育園としてこんなことをやった方がいいのではないかと、いうことがあったら、お出しいただけますか。

委員 幾つか、今論議をされた中でポイントに当たるようなことが出ているのではないかと思います。1つは駐車場のお話がありましたよね。駐車場については、やはり現在の幼稚園とか保育園とか、特に低年齢者の場合には必要な施設、特にこの地域はないと困るのではないかなと私は思います。布団を抱えて雨の中を子どもを連れていくのは大変なことですよ。そういった意味で駐車場を考慮した方がいいだろうなというのは、全くそのとおりだと思います。

それから、施設の運営にかかわる問題なのでしょうけれども、先ほど来、出ています子育て支援センターに関連した問題、今鎌倉は福祉センターで委託していますけれども、やはりそれぞれの保育園に支援センター職員の配置をきちんとして、地域をちゃんと見る。そういう施設ですよ。施設とって

もいろいろな考え方ありますけれど、まず人的に人を置くことがとても大事だろうと思います。

それから実際に行けなかったんですが、地図は送っていただいたんですよ。この近辺、私は行ったことはあるなと思っているんですが、1つ考えましたのは、非常に新興住宅地域で市の公共施設が余りない地域ですよ。子ども会館が近くにありますが、道路を挟んで公園を挟んで。そういった意味ではこのあたりは公共施設が集中しているところですから、総合的な整備を検討された方が、先ほど来出ていますが、必要なことだろうと思います。

子育ては、ちょっと離れますけれども、それ以外にもう一つ環境の問題が出ていましたね。確かにここ谷戸地域ですよ。谷戸の地域ですから沢の水といますか、非常に湿気が多いのではないかと思います。特に鎌倉のこのあたりの地域、地質的にもね。そういう点でいくと1970年に建設されたわけですから、それで30年経って老朽化している、かなり危険な施設だろうと私は思います。

今後の大きな規模の地震が起こることを考慮に入れると、子どもたちを守るだけではなくて、やっぱり地域防災の拠点にもなるような施設として、施設づくりを考えていかなければいけないと思います。

それからもう一点、先ほど保護者の方から、これだけ老朽化して意見が出ていないのかというのは、多分意見は出ているのではないかなと思うんですよ。私は聞いたことがあります。出ていますよね。トイレが臭いので何とかしていただきたいとかということで随分やりとりをしていたように、私は記憶をしております。ですから保護者の方から、どういうふうに声を上げていいのかなというところがあるんだろうと思います。そういった声を生かしながら、話し合いながら施設を改善していくことが必要なのではないかなと思います。それから、先ほど出ていたご意見の中でちょっと考えてしまったんですけども、異年齢は異年齢でいいんですけども、例えば中・高生も含めたとか、あるいはいわゆる学童、小学校低学年も含めると、やはりかなりちゃんと検討をしないと、単純にはできないなと考えております。それぞれの地域の特徴もあるし、いろいろな要素が入ってきますので、よく話し合っけてきちんと線引きもして、施設をつくっていく必要があるんだろうと思います。そういった点でいくと、大分奥まった施設ですよ。そのところが少し気になるんです。それから先ほどの地域防災という観点からいっても、前の道路が非常に狭いですから、恐らくマイクロバスがやっと1台入れるか...

委員長

マイクロバスは入らない。

委員

そういう状態でしょうから、いざ地震とか防災上の問題が起きたときに、果たして実質的に機能するのかどうかというと、地図で見ただけですけれど、

ちょっとかなり危険かな。それから周りの状態でいくと、たしか竹林か何かあったのではないですか。いずれにしても地形的には土砂崩れ等が起こりやすい地域ではないかというふうに思います。そういう点では、沢ガニがいるのも結構なんですけれど、沢ガニがいるということはそれだけ水が多いということですので、危険性も高いということ逆を意味していますから、余り安心ができないと考えています。

委員長

ありがとうございました。我々が乗ったバスも園の前まで入らなくて、大きな通りに停めておかざるを得なかったというのがありますね。それから総合的に考える必要があるというのも、私も確かにそう思って、私が気になったのは児童会館の隣の遊園地というか公園、夕方だったせいもあるのかもしれないけれども、何だかもったいないなと。何かライオンとか象はいましたけれども、あんなの置かないでもっと有効活用できるのではないかなと思いました。

それから、もう一つ 委員が言われたことで大切だなと思ったのは、やっぱり全体としての社会資源の配置をあそこの地域にどういうふうにしていくのかということもすごく大切なことで、もう一個の代替地を見せていただきましたけれども、例えば仮設の保育園つくってそれでおしまいにしてしまうのはもったいないわけで、まさにそういう意味で総合的にあそこをどういうふうに活用していくのかということも、私たちの委員会としては保育にかかわるところにある意味では焦点を当てざるを得ないんでしょうけれども、もし何か結論を出すようなときには附帯的なことも考えられないかなというような気がします。

さて、先ほど申し上げたように委員の中で、この後またお仕事を予定されていらっしゃる方がいますので、7時までのお約束ですから、ほかに特にご意見がなければ次の日程、次々回の日程を確認させていただきたいんです。

さん何か。

委員

実は私、大船保育園の2階で幼稚園に入る前に入っていたサークルのミーティングを何度かさせていただいたんですけれども、そういう多目的に地域の人が使えるようなお部屋を保育園が持っていたらいいというのはとても助かったので、そのことを1つつけ加えておきたかったです。

委員長

それでは、次回の日程と、それから私の方から事務局にひとつお願いがあるんですが、時間は短かったですけれども、いろいろなアイデアとかご意見が出ましたので、それを踏まえて今鎌倉市側は、実施計画に基づいてあそこをどういうふうにしようとしているのか。いろいろな考え方あると思うんですけれども、限定して1つではなくてもいいんですけれども、こんなことを今考えていますということも次回は提示をしていただく。それから全体の今

は保育所をどういうふうにしていこうとお考えなのか。その辺のことも伺って、少し具体的な諮問の1つ目の事項について詰めていきたいと思っております。それをお願いしておきます。

(日程調整)

委員長 それでは、次回は7月24日火曜日、5時半から。次々回については、一応8月22日の2時から4時ということで予定しておいてください。
では、これで次々回まで決めることができました。今回はいろいろご意見をいただいたということで次回、少し市側からアイデアを今度は逆に出していただければと思います。それではどうもありがとうございました。